

教会のひとこま — 秋の教会 —

秋も本番。毎年恒例となりました武庫川河川敷における運動会は、今年晴天のもと、総勢90人の参加で開かれました。時折、秋の風が吹き抜けて、汗ばんだ私たちは気持ちよく、楽しい一日を喜びました。



パン食い競走



玉入れ

リレー



綱引き

Glory100号記念特別企画!! 愛読者プレゼントのお知らせ



来月号をもってGloryは100号を迎えます。これを記念して、来年のオリジナルカレンダーを、日頃からGloryを愛読して下さっている皆様にプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募方法

TEL:0797-73-6076
FAX:0797-73-6075
Eメール:info@takara-eikou.com
必ず、お名前、ご住所、ご連絡先をお知らせください。



※写真はイメージです。

宝塚栄光教会のクリスマス

早くもクリスマスのご案内です。ぜひ、あなたのスケジュール帳にチェックを入れてください。

12/20(日) 10:30~12:00

クリスマス礼拝

12/20(日) 13:30~15:00

燭火礼拝

(キャンドル・ライト・サービス)

12/24(木) 17:45~18:30

逆瀬川駅前キャロリング

12/24(木) 19:00~21:00

ベアンテ・ボーマン

チェロコンサート

第40回 阪神クリスマスフェスティバル

~Celebration of History~

入場無料

12/5(土) 16:30 OPEN 17:00 START

西宮市民会館アミティホール

阪神間の教会が協力して開かれるクリスマスの集い。今年多彩なゲストです。



メッセージ
藤本満 牧師

音楽ゲスト

小堀 英郎 (ピアノ)
井草 聖二 (ギター)
向日 かおり (ヴォーカル)
エンジェル・リンガーズ (ハンドベル)



ケアプラン
デイサービス
オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」

☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。 ☎:0797-73-6077

宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

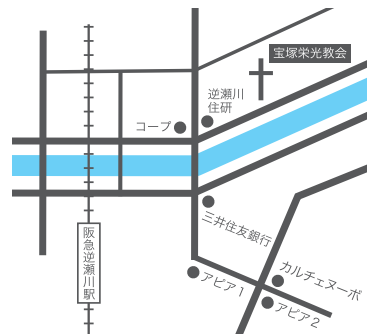
E-mail: info@takara-eikou.com

http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャストでも配信中!
ホームページから利用できます。



2015

11月号 99

宝塚栄光教会

一粒の麦

イエス・キリストは、十字架にかかれる前、このように言われました。「一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。」(ヨハネの福音書12章24節)

一粒の麦は、地にまかれて、麦であることをやめて、供給源に徹することにより、やがて芽を出し、茎が伸び、穂がなります。その穂の中には、何十粒という麦が詰まっています。一粒の麦が死ぬことによってもたらされる実りです。

キリストは、ご自分の十字架の死と、その後現される栄光をさして、このたとえを語られました。キリストは、神の子としての栄光を捨ててこの世に下られ、私たちの罪のために十字架で死なれました。しかし、三日目に死の闇を破って復活されました。このキリストを信じる者は、だれでも、どんな罪も赦されて、神の愛と天国の希望に生きる者になります。つまり、キリストは、ご自分の死を通して、多くの人々が愛と希望に生きるという、

豊かな結実を現されたのです。

私たちが、豊かに実を結ぶ生き方ができます。キリストの救いをいただいたなら、与えられたこのいのちを、自分のために使うのではなく、私を愛して下さったキリストにささげ、キリストのために生きる者にされます。たとえ困難がやってきても、つらいところを通らなければならなくても、私を愛して、ご自身を十字架にささげて下さったキリストの心をいただいて、平安と希望を持って勝利をしていくことができるのです。

あなたは今、どのような人生を歩んでおられるでしょうか。自分に益になる目先のことだけを追い求めて生きるのではなく、天地を創造され、私たちを愛して下さった神を思い、その神のもとから遣わされて、私たちのために十字架でいのちを捨てられたキリストを信じて生きる生き方、キリストを愛して、キリストのために生きる生き方をしたいですね。



「秋の野草 ー野菊ー」

秋晴れの好天が続くと 無性に 山や野に 出かけたと思う
木や草 雑草の間に 身を沈めていると
その空気の中で 身も心も 洗われていくように思う

歩く道の畔や草の中に 必ず咲いているのが 野菊だ
可憐な野菊の表情に しばし 足を留めることもよくある

野生の菊の花を 人は野菊と呼んで 愛しむ
歌で詠み 手でふれ 日本人の感性に 深くしみこんだ花だ

実は 野菊という花はないそうだ
よく見ると 形 大きさ 色 姿も それぞれみな違っている

それぞれ野山に自生し 根を張って あるいは種でふえて
秋になると いつの間にか 咲いている

アブラギク ノジギク ノコンギク ヨメナ

よく調べてみると 花の時期も 場所も みな個性があって 違うのだ
種類は およそ95種類もあるというから 驚く

秋の風に 吹かれるままに 身を任せながら
それでも ここで自生しているのだ と言わんばかりに そこにいる

そうして どれ程の時を 経て来たのだろうか

素朴な表情の奥に見える 強い意志を 深く思い知って
大きく 息をついた
見上げる空は どこまでも 青い

あなたがたが新しく生まれたのは
朽ちる種からではなく 朽ちない種からであり
生ける いつまでも変わることはない
神のことばによるのです